



Letters

レターズ / 加入者や保護者の皆さんから寄せられたお便りをご紹介します。

加入者や保護者の皆さんから寄せられたお便りをご紹介します。

大分県

K・Kさん（母）

息子が生まれて2カ月目の事でした。バイクが好きな主人は、ツーリングに行くとお出掛けのまま帰らぬ人となりました。突然の出来事で頭の中が真っ白になり、葬儀のこともあまりよく覚えていません。母子家庭でこれからどうやって行こうと思っていましたが、義母の知人が育成基金のことを教えてくださり、今日まで無事に過ごすことができました。

あれから息子も18歳になり、育成基金のお金で無事大学にも行けました。父親がいないことで寂しい思い悔しい思いもたくさんしてきたことと思いますが、今ではとても素直で優しい子に育ってくれています。自慢の息子です。給付完了までまだありますが、長い間大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

福岡県

I・Sさん（加入者）I・Yさん（母）

♡お母さまより

この度は完了給付金や図書カードをありがとうございました。

娘が中一の時に夫を亡くし不安でいっぱいでした。この基金に出会うことができ、定期的に給付されることで本当に安心した日々を過ごすことができました。

長い間お世話になりありがとうございました。

♡加入者さまより

この度は完了給付金や図書カード、ありがとうございました。私は今、短大で介護福祉の勉強をしています。夢に向かって頑張っています。今まで本当にありがとうございました。

新潟県

みのゆさん（母）

いつも楽しくスマイルズを読ませていただいています。この春子どもが他県の大学に合格し、家から離れ一人暮らしになりました。主人を事故で亡くし子どもを成人させるまでは何があっても頑張ろう！と、生きがいは子どもの成長しかありません。子どもと離れた生活になり毎日メールを送り返事を楽しみに待っていますが、新生活が忙しいため、なかなか返信も来なかったり、既読すら付かず…。

主人が亡くなり毎日泣いていたように、また涙が出てきました…が、子どもは「全然寂しくない！楽しい」と。母としては嬉しさの反面寂しさも。子どもが幸せなことが一番だと言い聞かせ、頑張ろうと思います。

北海道

I・Tさん（加入者）

私は交通遺児等育成基金のおかげで様々な経験をすることができました。普段は行かないような場所へ連れて行ってもらい、すごく楽しく過ごすことができ、とても嬉しかったです。小さい頃から本当にお世話になりました。

私事ですが、春から大学生になります。私は様々な挑戦をして将来の糧にしたいと思います。私はこの給付金のおかげでここまで成長することができて、本当に感謝しています。なので、自分も将来このような活動をして自分が今まで受けてきたものを社会に恩返しできるような人になりたいです。また、大学ではたくさんの人々に対する感謝を常日頃から忘れずに過ごしていきたいです。本当に長い間でしたが、心から感謝しています。一生懸命、これからの人生を頑張ります。

神奈川県 T・Mさん（母）

いつもお気遣いをありがとうございます。いよいよ小学校生活も残すところわずかとなりました。実は小学校5年生までは毎日楽しく学校に通っていた息子が、6年生になった夏休み明けから突然学校へ行きたくないと言い出し、よくよく聞いてみれば、先生とのトラブルとクラスの子たちとの折り合いが悪くなり悩みを抱えていたようで、そこからは学校へ行くとなると過呼吸発作を起こすまでにストレスが悪化していました。

その日から今日まで、別の教室通いや自宅での学習と本人に勤めてきましたが、なかなか思うようにいかず、引きこもり、ゲームやYouTubeの毎日となっています。ただ、間もなくの中学校生活には希望を抱いているようで、部活は仲のいい友達と同じ運動系にしたいなど話してくれるので、そこは親としてもホッとしているところであります。

先日、学生服の試着や卒業式に着る服、ジャージや体操着を選ぶ日に友達と一緒に歩いて中学へ行くことができました。私も息子が楽しく中学校へ通える日を夢見て希望を持って頑張っていきたいと思います。「橋本給付金」をありがとうございます！

福島県 N・Sさん（母）

この度は橋本給付金を給付していただきありがとうございます。色々な物が値上がりしている中の給付金は、大変家計に助かります。

なるべくお兄ちゃんのお下がりでもいいと言う三男に申し訳なく思っていました。給付金をお下がりができない学用品の購入に充てたいと思います。ありがとうございました。



滋賀県 K・Yさん（加入者） K・Yさん（母）

🍁加入者さまより

先日育成給付金完了のお知らせが届き、完了給付金と図書カードをいただきました。これからも勉学に励み、目標に向かって頑張りたいと思います。

長い間ご支援いただき、本当にありがとうございます。

♡お母さまより

この度、2年前の長男に続き、次男が今年の3月で19歳を迎え、長きに渡りお世話になりました交通遺児等育成基金から卒業することとなりました。育成給付金完了のお知らせと共に、完了給付金と図書カードをいただきありがとうございます。

事故後、同じ境遇ですでに加入されていた知人から育成基金のことを教えてもらい、約18年間お世話になりました。節目には支援給付金、映画鑑賞券、LIVE SDDへの招待等、温かいご支援もいただき感謝の気持ちでいっぱいです。

主人が亡くなった当時1歳3カ月。仕事から帰ってくると玄関までハイハイして迎えに行っていた息子。ある時「父親の記憶が全く無い」と言い、父親が居て欲しいときに居なかった寂しい思いをさせていたと心苦しくなりました。

2019年12月から2021年10月までニュージーランドの高校へ留学していた息子はコロナ禍の真っ只中で一度も帰国することなく、海外で一人頑張っていた時もありました。昨年、夢の実現のために専門学校へ進学。寮生活をしながら日々頑張っております。

6月18日は主人の命日です。亡くなって18年になりました。主人と一緒に息子たちの成長していく姿を見て喜びを分かち合いたかったですが、きっとそばで見守ってくれていると思います。長男は大学4回生。2月には就職内定をいただき、今は勉強に美術製作にと頑張っています。

最後になりましたが、今まで長い間お世話になりましたことへの感謝と共に、貴基金の皆様のご健康と、これからの益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。



第7回 個人寄付者様からのメッセージ編 交通事故被害者のご遺族とご家族より

【交通事故被害者のご遺族様から】

● 交通遺児の方々には少しばかり寄付をさせていただきます。毎月決まった額は無理なのですが、家計を節約して残ったときでよいでしょうか。知人の息子さんも小さい子を残し事故に遭い、私も次男を三年前に事故で失い本当に悲しい思いをしました。少額で恥ずかしいのですが、お役に立てただけであれば幸いです。（千葉県／T・Eさん）

● 今年1月、母を交通事故で亡くしました。毎日のように新聞やニュースで交通事故のことを報じていますが、まさか自分の身内に起こるとは夢にも思いませんでした。大切な人を奪われた者にしかわからない心の内、大人も子どもも一緒だと思います。母が私たちに残してくれたお金の中から少額ですが、交通遺児のために役立ててほしくて送金しました。母も喜んでいると思います。住みにくい世の中ですが、交通遺児の皆さんが幸せに暮らせることを願っています。そして、私のような悲しくつらい思いで心を痛める人が1人でも減ることを願っています。（大阪府／F・Mさん）

● 一昨年に父を事故で亡くし、今年夏に調停の結果、無保険車傷害保険がありました。わずかではありますが、お役に立てたことと送金いたします。（東京都／T・Tさん）

● 7歳の次男を事故で失いました。次男の分もしっかり生きてほしいと思っています。（神奈川県／T・Mさん T・Nさん）

【交通事故被害者のご家族様から】

● 小6になる息子が軽トラックに撥ねられました。通学路で、下校中の出来事でした。頭痛や吐き気という

ような後遺症が残る一方、加害者側に反省の色が見られないのがつらく感じられるこのごろです。慰謝料として、保険会社より支払われた金額を、交通事故がなくなってほしいと祈りつつ、寄付申し上げます。（神奈川県／T・Eさん）

● 貴法人の大型カレンダーの下に「まごころのご協力をお願いします」という旨の文章を見て、当方でも兄弟が事故に遭いまして他人ごとではないと思い、本当に些少ではございますが、気持ちを送ります。お役に立ててください。（東京都／M・Sさん）

【編集部より】

日頃より当法人の活動にご理解いただき、全国の皆様から多額のご寄付をいただいておりますことを、心より感謝申し上げます。

当法人がこれまで活動してきた中で、しばしば寄付者の皆様からメッセージをいただくことがあります。お手紙や電子メール、払込用紙の備考欄に書かれたメッセージを改めて読み返して気づいたことは、寄付者お一人おひとりに交通遺児を支援したいとの強い思いを抱く理由や出来事がありになったのだな、ということでした。そして、多くの寄付者の皆様に共通した点は、少しでも交通遺児の力になりたい、交通遺児たちに希望を持って生きていってほしい、という温かな応援の気持ちだと思いました。

このようなお気持ちの皆様にご支援いただいていることは、私どもとしましてはこの上ない心強さを覚えます。皆様のご厚意に対し、改めてお礼申し上げます。

今回はご家族が事故に遭われた方々からのお便りを中心に紹介させていただきました。事故によりご家族が受傷された方々には心からのお見舞いを申し上げますと共に、ご家族を亡くされた方々には謹んで哀悼の意を表します。